

革新的な医薬品と医療ソリューションの創出	
サイエンス発展への貢献	
目標 ・アンメット・メディカル・ニーズの高い領域での継続的な医薬品の創出 ・医薬事業とシナジーが見込める領域を中心とした、将来のヘルスケア領域のニーズに対応する医療ソリューションの創出	
KPI	2022年度の進捗
①主要な開発品目の進捗 ・精神神経領域の目標 ulotaront (SEP-363856) : FY24上市 (米) SEP-4199 : 2020 年代後半上市	ulotaront (SEP-363856) : 統合失調症を対象にPh3 (米) 継続、Ph2/3 (日、中) 継続、大うつ病補助療法を対象にPh2/3 (米) 開始、全般不安症を対象にPh2/3 (米、日) 開始 SEP- 4199 : 双極I 型障害うつを対象としたPh3 (米、日) を継続
・がん領域の目標 (品目未定) : 2020 年代後半上市 (日米)	レルゴリクス : 欧州 前立腺がん承認取得 (2022年5月) TP-0184, DSP-7888, DSP-0509, TP-0903 : 開発中止
・再生・細胞医薬分野の目標 パーキンソン病 : FY24上市 (日) 加齢黄斑変性 : FY25 上市 (日)	パーキンソン病 : Ph1/2 (医師主導治験) 加齢黄斑変性 : 企業治験準備中
・その他のアンメット・メディカル・ニーズの高い領域の目標 レルゴリクス : FY22 子宮内膜症承認 (米) rodatristat ethyl : 2020年代後半上市 (日米)	レルゴリクス : 子宮内膜症承認 (米) (2022年8月) rodatristat ethyl : Ph2 (米)
・フロンティア事業の目標 複数品目の事業化 (目標 : FY23 -25 上市 (日米))	MELTz®販売開始 (2022年9月) メンタルヘルスVRコンテンツ試験販売開始 (2022年11月)
②初期開発品目の進捗 精神神経領域がん領域のPh2およびPh1 移行数 (2018-22累計)	精神神経領域 Ph2 : 1剤1試験、Ph1 : 9 剤9 試験 がん領域 Ph2 : 1剤1試験、Ph1 : 7 剤7 試験
③モダリティ展開の進捗	複数のワクチンプロジェクトの進展、抗体医薬を含むタンパク質 (JCRファーマ株式会社と提携)、核酸 (ルクサナバイオテック株式会社と提携)、ペプチド (株式会社ファンベップと提携) に関する取組の継続
③研究開発員の仕事への意欲 SMPオピニオン*1での仕事への意欲に関する満足度*2 *1 : クアルトリクス社のQualtrics Employee XMを用いた全社意識調査 *2 : 5点満点での研究開発部門の平均点	権限・裁量 3.9、CSR 4.1、成長の機会 3.8、職務適正 3.9
働き方改革	
目標 ・働き方の高度化 ・ワークとライフの好循環	
KPI	2022年度の進捗
①従業員エンゲージメント	SMPオピニオン*1におけるエンゲージメントスコア : 68% エンゲージメントスコア 63%*2未満の部門割合 : 24% *1 : クアルトリクス社のQualtrics Employee XMを用いた全社意識調査 *2 : クアルトリクス社がベンチマークする日本企業平均エンゲージメントスコア
②離職率	3年離職率 : 1.83%、5年離職率 : 1.66%、10年離職率 : 1.71%
ダイバーシティ & インクルージョン	
目標 ・女性社員の活躍推進 ・LGBTQの理解促進 ・障がい者の適材適所での活躍推進	
KPI	2022年度の進捗
①女性管理職比率 (2022年度末までの目標 : 10%以上維持) 管理職を除く幹部社員の女性比率 (2022年度末までの目標 : 15%)	女性管理職比率 : 14.4% 管理職を除く幹部社員の女性比率 : 14.0%
②男性育休取得率 (2022年度末までの目標 : 100%)	115.1% (連続した5営業日以上)
③LGBTQに関するe-learning受講者数	2,771人
④ALLY活動数	4件
⑤障がい者雇用率 (目標 : 法定雇用率の2.3%以上)	2023年6月1日時点 2.58%
従業員の育成	
目標 ・リーダー人材、グローバル人材の育成 ・自律・自立したキャリアを自ら実現していく企業風土の醸成	
KPI	2022年度の進捗
①選抜型研修受講者数	SMP Academy 77名
②海外勤務経験者数	13人 (2022年度海外勤務開始者)
③英語力強化プログラム受講者数	e-learningコンテンツ学習 (go FLUENTプログラム) 受講者数 e-learning : 1,591名 マンツーマンプログラム : 104名
④社内公募件数/応募数	5件 (15名)、52名
⑤キャリア・コンサルティング相談件数	約200件

患者支援とアドボカシー	
目標 ・患者さんやご家族、社会の疾患に対するリテラシーの向上	
KPI	2022年度の進捗
①医療従事者を通じた患者視点での活動	<p>【糖尿病】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スティグマにあたる言語の注意喚起研修(全支店長、営業所長) ・日本糖尿病協会との連携 (協会作成患者向け資材の配布、「糖尿病ことばを見直すプロジェクト」合同プレス発表(2022年11月7日)、年次学術集会にて一般演題口頭発表「糖尿病領域アドボカシー活動について」) <p>【精神領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資材活用による統合失調症患者さんへの啓発推進(2021年度より継続) ・世界統合失調症デー(2022年5月)に合わせて、CNS領域担当MRがシルバーリボンバッジを着用して情報提供活動を実施 ・「こころ・シェア」関連資材活用を通じた統合失調症患者さんの就労支援および双極性障害の疾患啓発・診断率向上の推進し、現在ユニーク訪問者が200万以上を超えている(2023年3月末時点) <p>【神経領域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VRコンテンツによる疾患啓発活動(レビー小体型認知症に特異的な症状(幻視、RBD(レム睡眠行動障害)等)の啓発を目的とした新規VRコンテンツ「Linaria(リリア)-360」をリリース、パーキンソン病およびレビー小体型認知症の疾患啓発(患者・介助者の日常生活体験)を実施(2021年度より継続)) ・パーキンソン病患者さん向け啓発資材(リハビリキッチン提供(2021年度より継続)、リハビリ日誌(アプリ)提供終了(2022年12月))、 ・2022年に公表*された「レビー小体型認知症の患者・介護者・医師の治療ニーズに関する研究」をもとにプレスセミナーを実施し、患者さん、介護者の治療ニーズに即した治療啓発活動を実施 <p>*Alzheimer's Research & Therapy. 2022 (橋本ら)</p>
②市民公開講座参加者の理解度/満足度	93.4%/92.5%
③患者団体との協働(寄付を含む)を通じた支援活動件数	10団体への寄付 1団体への活動サポート 新たに制作したコンテンツ数:2件
④ウェブサイトを通じた疾患啓発、情報提供	こころ・シェア:1件(就労相談チェックシート追加) 糖尿病マイケアノート:1件(レシピに栄養素・カロリー追加)
地域貢献	
目標 ・社会との調和を意識し、社会の一員としての責任と貢献を果たす	
KPI	2022年度の進捗
①次世代育成支援活動における実施実績 受講者の理解度/満足度	実施校数:13校、受講生徒数:1117人、当社からの講師数:のべ28人 98.7%/97.7%
②社会課題(災害、障がい者、環境、生物多様性等)解決に繋がる社会貢献寄付件数	5件
③地域毎の慈善活動件数	2件
グローバルヘルスへの貢献	
目標 ・マラリア、薬剤耐性(AMR)菌感染症の治療薬の創出 ・薬剤耐性(AMR)対策と抗菌薬適正使用に関する官民連携強化 ・健康・衛生・栄養に関する市民啓発の推進	
KPI	2022年度の進捗
①感染症領域の開発進捗状況 プロジェクト数/製品数(上市数)	6件/0品目 KSP-1007:米国Ph1完了
②感染症領域での政策提言の数	10件
③AMR対策支援プログラムに参加した医師・薬剤師の人数	37人
④途上国の母子保健支援プログラムで支援した地域住民の人数	調理実習:1,003人 家庭訪問:1,350軒
医薬品アクセス向上への取り組み	
目標 ・服薬に関するリテラシー向上を目指した市民啓発の推進 ・未承認薬・適応外薬の開発要望への対応 ・公正な価格での薬剤提供の推進	
KPI	2022年度の進捗
①服薬リテラシー向上を目指すプログラム数	4プログラム
②未承認薬・適応外薬への対応数	2製品
③医薬品アクセスに関する当社が貢献した政策提言の数	6件
途上国に対する医療インフラ整備支援	
目標 ・医療人材の育成、保健ネットワークの構築などに対する支援 ・現地行政や国際機関と連携した薬事規制やサプライチェーンの整備支援	
KPI	2022年度の進捗
①途上国の母子保健支援プログラムで育成した専門人材の人数	66人
②途上国の医療インフラ整備に取り組むパートナーシップ数	5件
偽造医薬品対策	
目標 ・偽造品および不正流通の防止	
KPI	2022年度の進捗
—	—